

[協働事業の企画書概要]

事業名	遊休農地の活用について
事業主体	定年退職者などで設立するNPOなど
事業の概要	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか？』</p> <p>1 遊休農地を市の仲介により農家からNPOなどが借り受け農業生産や市民農園などとして活用する。</p> <p>2 ここでは、小中学校や福祉施設などから排出される生ゴミや落ち葉をたい肥化して使用し、ゴミの減量化を図る。</p> <p>3 市民に安全で新鮮な農産物を提供するとともに小中学生の自然学習や農業体験の場として利用する。</p> <p>4 運営費は、市の創業支援、会員の出資金、事業収入で賄う。</p>
どういう主体と協働するのがよいと考えていますか？	<p>主体A：NPOなど</p> <p>主体B：市農政課</p> <p>主体C：小中学校・福祉施設など</p>
協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか？	<p>主体A：NPOなどは、事業の可能性、継続性、採算性などの調査研究、事業の計画・評価、出資者の確保など</p> <p>-----</p> <p>主体B：市農政課は、遊休農地の仲介、農業生産や市民農園運営のアドバイス、創業支援（設備費助成）など</p> <p>-----</p> <p>主体C：小中学校などは、自然教育、農業体験を通じ農業や環境保全への関心と理解を深める</p>
その他	<p>本事業は、遊休農地の活用によりNPOなどが生活の向上、地域経済の発展に寄与しようとするものであり、この実現には、社会資源である農地の提供と市の協力が不可欠である。</p>